



憧れの舞台で優勝に向かって飛べ！

徳本大紀くん



PROFILE とくもと・だいき (15・門屋) 浜岡中学校3年。浜中バレー部・県代表ともにポジションはレフト。高校では春高バレーで上位を狙うことが目標。夢はもちろんバレー選手。

あの日見た憧れの舞台へ

12月25日から、JOCジュニアオリンピックカップ第27回全国都道府県対抗中学バレーボール大会が大阪で開催される。この大会に、静岡県代表として浜岡中学校3年の徳本大紀君が出場する。

徳本君は昨年の大会を実際に会場で観戦し「自分もここで試合ができるように頑張ろう」と決めた。その目標がこの冬達成される。

駆け引きとチームプレーが魅力

バレーの魅力は「チームで作戦を立て、相手を惑わす攻撃や、いかに相手の弱いところにボールを落とせるかと攻守にわたり駆け引きがあるところ。また、バレーはチームプレー。味方同士でも息が合わないとボールを落としてしまう。それもおもしろい」という。浜岡中学校バレー部では相手と味方をよく見てゲームを組み立てる、ゲームキャプテンを務めた。

徳本君は、相手のブロックの小指を狙ってアタックを打つことを常に意識しているそう。小指に当たったボールはコートの外へ飛び、取るこ

とができず得点につながる。また「僕は身長が高いわけではない。勝つためにはその分高く飛ばないと通用しない」と、レフトエースとして自身のジャンプ力への自負が感じられた。

プレッシャーを力に全国へ

県の代表に選ばれた時はうれしさと同時にプレッシャーも感じたという。だが、「練習で上達していくうちに自信がつき、出られなかった人の思いを背負って試合に臨むプレッシャーを、その人たちの分まで頑張ろうと力に変えられた。足のけもあり万全な状態ではないが、その思いを力に、協力してくれた家族や先生方への感謝の思いも忘れず大阪へ臨みたい」と話す。

あの日客席から見た憧れの舞台で、思う存分プレーを楽しんでほしい。